

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森 麻生 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和6年11月11日		～	令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	令和6年11月11日		～	令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月7日		○公表日	令和7年1月24日

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育から5領域に繋げることへのアプローチ ・子どもたちの成長を支援するために運動を活用し、一人ひとりの特性や成長を多面的にサポートする計画的な実施をしていることで、心身の成長と発達を支援を行うことができている。	・個別支援計画を基盤としながら、日常的な活動において多角的なアプローチを組み込んでいる。 ・段階的なプログラム設定、運動と課題解決を組み合わせた活動、成功体験を実感する仕組み作りや声掛け等に取り組む。	・個別支援計画の定期的な見直し、子どもたちや保護者と共有することで、適切な支援を提供する。 ・子どもたちが飽きずに運動を続けられるようにさまざまな運動プログラムを提供する。
2	保護者との信頼関係 ・保護者から「安心して通わせられる」「先生方の対応がしっかりしている」との声をいただいており、保護者とのコミュニケーションや信頼関係の構築が強みとなっている。	・保護者との定期的な面談や連絡ノートの活用。 ・日々子どもたちの活動内容や写真を共有し、子どもたちの姿や活動の成果などを細かく伝えている。 ・保護者一人ひとりに寄り添った対応を心がけ、ニーズを理解する姿勢で取り組む。	・現時点で要望に応えられていない場合は、より具体的にお話を伺いながら対応を検討していく。 ・職員間で保護者対応の事例を共有し、対応力を全体で向上させる。 ・保護者アンケートを定期的の実施し意見や要望を調査し、改善に反映。結果を共有し実行した改善策を報告。
3	子どもたちへ寄り添った支援、楽しく通える環境 ・子どもたち一人ひとりの気持ちを理解し、尊重しながら支援を行う姿勢が評価されており、安心感や信頼を持たれている。 ・子どもたちが「楽しみにしている」「楽しかった」と言ってくれる環境づくりが成功しており、通所への意欲を高められ継続した支援を行うことができている。	・日々の行動や発言を観察し、子どもたちの個性や好み、感情の変化を把握している。 ・毎日の小さな変化にも注目し、サポートに反映している。 ・集団行動が苦手な子どもたちがゲームやグループ活動を通じて「できた!」という達成感を味わえるプログラムを意識。 ・夏祭り、ハロウィン、クリスマスなどのイベントの企画。	・日々達成できるような小さな目標を設定し、達成時に子どもたちと一緒に喜び、成功体験を積み重ねる。 ・遊びや学びの選択肢を増やし、自分で「やりたい」を選べる環境を整える。 ・日常の活動に加え、子どもたちがワクワクするような特別プログラムを定期的実施。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設のスペース不足 ・特性による痙攣やトラブルが発生した際に個別対応できる職員を配置しているものの、対応できる広さに余裕がない。	・施設の構造の問題。	・スペースの確保や効率的な使用方法を検討する。
2	地域や外部連携の不足 。地域のイベントを活用できていない。	・地域イベントへの参加や協力を引き出す体制が整っていない。	・地域の施設やイベントに積極的に参加し、子どもたちに新しい体験を提供。 ・地域住民や団体と連携を強化し、共通の活動機会を増やす。
3	職員のスキルに関する課題 ・職員間で支援スキルや知識の差があり、支援の質にばらつきが生じる可能性。	・専門的な知識や技術を習得する機会が少ない。	・スキルアップのための研修強化。 ・チームでのサポートを体制を強化し、負担が偏らない仕組みを作る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ソレイユの森 麻生 児童発達支援					公表日	令和7年1月24日	
利用児童数							39名	回収数	33
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	6	1	2	・テナントスペースがもう少し広ければ と思います。 ・運動メインなのでもう少し広さがあ ればと思いますが、限られたスペースで 色々と工夫して活動をしていると思い ます。 ・夕方まで運動するのは子どもも辛そう なのでおやつ休憩の場所を確保して欲 しいです。	・物理的にスペースが限られているた め、エリアの拡張は難しい状況ですが、 今後もアイデアや工夫点を出し合い検 討していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29		1	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2		5	・視覚的にわかりやすく工夫されてい ると思う。 ・トイレや着替えなどの環境や対応が気 になる。	・トイレや着替えの環境については清潔 さや使いやすさを心掛けており、必要 な設備や対応も整えています。気になる 点がございましたら、ぜひお気軽にお 知らせください。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	29	1		3			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	31	2			・親がわからないところまで理解して くれていることがある。 ・我が子に対してはもう少し厳しくても 良い。	・子どもたち一人ひとりの特性や成長に 寄り添うことを心がけており、その点 を評価いただけたことを嬉しく思 います。また、「厳しく」とのご要望につ いても子どもたちの成長に適した対応 を大切にしつつ、ご家庭のご意向も踏 まえてバランスよく支援にあたるよう 努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	30			3			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	32	1			・子どもの成長や変化に対してのリス ニングが他事業所に比べ少ないので、定 期的に面談等設定して欲しいです。	・定期的な面談など、保護者の皆様と しっかりお話しできる機会を設けるこ とで、子どもたちの成長をより深く共 有し、支援内容の向上に努めてまい ります。モニタリング以外に定期的に 相談や面談のご希望があったご家庭 と時間を合わせて行っておりますので お気軽にお声がけください。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1		1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	32			1	・子どもたちが楽しんで活動できるよ う変化をつけたり工夫されている。	・これから子どもたちが意欲的に取り 組めるよう、多様なプログラムや工夫 を取り入れていきます。引き続き、気づ いたことやご意見がございましたら、 ぜひお気軽にお声がけください。より 良い支援を目指して努めてまい ります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	12	4	2	15			

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	6	9		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	31	2			・利用ごとに伝え合っていてどの先生にもしっかり周知されている。 ・送迎時、細やかに様子を伝えてもらえるのが安心します。	・子どもたちの健康や発達状況について、保護者の皆さまと共通理解を持てるよう努めてまいりました。これからも引き続き丁寧なコミュニケーションを心がけ、子どもたちに最適な支援が提供できるよう努めてまいります。何か気になる点がありましたら、いつでもお気軽にお知らせください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	3	3	・子育てに辛い時に面談でアドバイスをもらったり、話を聞いてもらってとても助けられました。	・少しでもお力になれたことが何よりの励みです。これからも保護者の皆さまが安心して子育てに向き合えるよう、寄り添いながらサポートを続けてまいります。いつでもお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	3			・いつも気持ちに寄り添ってもらっている。 ・悩みなど相談した際もこちらに寄り添い子への支援を下さっています。 ・子どものことをたくさん褒めてくださるので嬉しいです。 ・先生によります。	・子どもたちや保護者の皆さまの気持ちに寄り添う姿勢を評価していただけたことは職員にとって大きな励みとなります。「先生によります」とのご意見についても真摯に受け止め、全職員が一貫して共感的に支援を行えるよう情報共有をさらに徹底し、支援の質を向上させ、より良い支援を目指して努力してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	13	13		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		6	・相談するといつも柔軟に対応してもらえて、とても助かっている。 ・相談などした後、すぐに対応していただき助かっています。	・職員一同、保護者の皆さまのお声に迅速かつ柔軟に対応することを大切にしておりますのでこのようなお言葉をいただけて大きな励みになります。これからも子どもたちや保護者の皆さまにとって安心できる支援を提供できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1		2		
非 常 時 等 の 対 応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30		2	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	5		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		11		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		7	・体を動かす支援でも大きなケガなく過ごせていますので十分安全に守られていると思います。	・安全面には特に配慮しながら、楽しく活動できる環境を整えることを心がけております。これからも子どもたちが安心して活動に取り組めるよう、引き続き安全管理を努めてまいります。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなケガもすぐ連絡してくださいませ。</li> <li>・そういった状況には未だなっていないのでわかりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、迅速で丁寧な報告を心がけてまいります。今後万が一事故等が発生した際には、速やかに状況を説明し適切に対応する体制を徹底し安心してご利用いただけるよう努めてまいります。</li> </ul>
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの先生も好きで信頼している。</li> <li>・わがママを言え、甘えられる職員の皆様をとて好きそうにしています。</li> <li>・先生、お友だちの名前もたくさん覚えて家でも言っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心感を持ち、楽しく通所頂けていることが何よりの喜びです。これからも子どもたち一人ひとりが信頼し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。</li> </ul>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しんで通っている。成長も感じて親としても嬉しい。</li> <li>・毎日「楽しかった」と言っています！</li> <li>・通所でない日も「ソレイユ行きたい」と言うほど楽しみにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが通所を心待ちにしてください。することは職員一同の励みとなります。これからも子どもたちが笑顔で楽しみながら過ごせる環境づくりを続けてまいります。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して通わせられる。</li> <li>・先生方の対応もしっかりしていて助かる。</li> <li>・子の気持ちを理解し、支援しつつも尊重して下さっています。</li> <li>・送迎の範囲がもう少し広がるとありがたいです。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援に対する評価をいただけたことは職員一同の励みとなります。心より感謝申し上げます。一方で、送迎の範囲拡大につきましては運営体制や地域の状況を踏まえつつ、改善できる点を検討してまいります。引き続きお子さまやご家庭に寄り添いながらより良い支援を提供できるよう努めてまいります。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ソレイユの森 麻生 児童発達支援					公表日	令和7年1月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			・外部評価の重要性や効果やメリットを理解し、実現可能な方法を検討することが必要。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・これまで地域住民を招待する活動が行われていないため、計画や実施体制の不足を改善することで実現できる可能性がある。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			